

平成30年度岩手町駐在の活動計画について

県農林水産部では、「“収益アップ”へ前進あるのみ！岩手の農林水産業」を本年度のキャッチフレーズとし、生産者や消費者の皆様が豊かさ・恵みを実感できる「食と緑の創造県いわて」の実現を目指して、各種施策を推進しています。

今月は、岩手町駐在の高原野菜チームと畜産振興チームの活動概要について、紹介します。生産者の皆様の“収益アップ”に貢献できるよう取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

H30年度計画の主な取組

1 キャベツ・ピーマンの産地力強化

(1) 安定生産技術の確立

- キャベツ大規模経営体における単収向上のため、重点農家を対象とした個別巡回による課題案件の解決方法支援（防除法等）
- スマートフォン等を活用した病虫害発生状況等の情報提供

(2) 低コスト・省力化技術の導入

- トヨタ式カイゼン手法によるキャベツの労働生産性の向上

これまで、(株)アンドファーム（岩手町）をモデルに、ホワイトボードを活用した作業計画の見える化や選果作業のライン化による工程の単純化などに取り組みました。無駄な作業を削減し、計画的に作業しやすくなった、誰がやっても同じ成果が出せる手法を習得できたとの声をいただいています。

(3) 経営管理能力に優れた若手生産者の育成

- 情報通信技術（ICT）を活用した土地利用型野菜における作業効率の改善等

H29は、小沢真人さん（岩手町）をモデルに、キャベツのほ場別単収・コストの見える化に取り組みました。従前の手書き帳と異なり、容易に単収等が分かるため、経営課題が把握しやすくなったとの声をいただいています。



▲カイゼン導入による

作業工程の単純化

2 中心的酪農経営体の生産技術の向上

(1) 繁殖成績向上に向けた飼養管理技術の改善

- 飼養管理技術の個別改善指導や規模拡大志向農家への経営計画・牛舎設計に対する助言
- 搾乳手技の徹底と飼養環境改善による乳質向上

(2) 飼料作物の単収向上

- 計画的な草地更新の誘導、飼料用トウモロコシの補給型施肥等による低コスト生産を支援

(3) 八幡平市繁殖育成センター設立

- 施設整備計画や経営試算の策定に対する助言

3 地域の核となる和牛繁殖経営体の育成

(1) 個別設定目標達成に向けた技術改善

- 繁殖成績向上のため、JAと連携した重点対象農家の個別巡回、栄養度に応じた飼料給与改善指導

(2) 若手生産者の育成

- 新規就農者や規模拡大志向農家の「肉牛快飼(にくうしかうかう)塾(じゅく)※」への参加誘導、参加者への技術研鑽や将来計画の検討を支援

※ 規模拡大志向経営者や新規就農者の育成を目的に盛岡地域で独自に実施

- 牛飼い女子グループ活動など、若手生産者のネットワーク化を支援



▲牛飼い女子グループの

手入れ研修会の様子

八幡平地域における実証圃の紹介

八幡平農業改良普及センターでは、農業技術の現地試験・管内への普及に向けて実証圃を設置しております。主な内容は下表のとおりです。栽培指導会の現地会場、研修会の情報として活用するほか、実証結果については随時、お知らせします。

No.	実証圃・調査等	場所	内容
1	「銀河のしずく」の栽培適地の検討	八幡平市 岩手町	高標高地における水稻新品種「銀河のしずく」の高品質・安定生産に向けた適応性の検討
2	ほうれんそうの品種比較	八幡平市 葛巻町	作型毎に収量、品質、作業性の比較を行い、当地域に適する品種を選定
3	ほうれんそう遮光資材実証	八幡平市	夏期の高温対策として遮光資材(35~40%)の効果を実証
4	ほうれんそう排水対策実証	八幡平市	水田転作圃場での明渠設置効果を実証
5	りんどう有望系統実証	葛巻町 八幡平市	早生2系統と晩生1系統(2年株)、極々早生2系統と極早生1系統(3年株)の特性を把握
6	りんご生育診断予察	岩手町	りんご生育調査、病害虫発生状況の調査
7	ピーマントネル作型実証	岩手町	収穫期の前進化を図り収益性向上効果を検証
8	キャベツ補給型施肥実証	岩手町	補給型施肥による低コスト栽培の実証
9	薬用作物の除草省力化実証	岩手町	薬用作物において手作業となっている除草作業の省力化対策を実証
10	薬用作物の優良種苗確保実証及び安定生産技術実証	岩手町	薬用作物の優良種苗確保に向けた技術方法を検討
11	ICTを活用した圃場管理システムの試用	岩手町	富士通の農業生産管理ソフト「Akisai」を活用した効率的な圃場管理システムを実証

農業機械操作研修会

農業生産に携わる女性農業者を対象とした機械作業技術の研修会を開催します。2会場のうち、どちらか好きな方にぜひご参加ください。

参加する場合は申込みが必要ですので、本普及センターに問い合わせください。



	盛岡会場	県北会場
月日	7月4日(木)	7月25日(水)
場所	岩手県農業研究センター畜産研究所 (岩手県滝沢市砂込 737-1)	岩手県農業研究センター県北研究所 (岩手県九戸郡軽米町大字山内 23-9-1)
定員	15名	15名
時間割	10:00~12:00 講義(安全使用及び法制度について) 13:30~16:00 実践講習(①トラクター、②管理機、③刈払機)	
問合せ先	八幡平農業改良普及センター(T E L 0195-75-2233)	

⚠️ 山火事にはご注意を ⚠️

山火事の原因の大半は、人為的な「野焼き」と「たき火」が過半を占めています。また、昨年は県内で野焼き作業中の死亡事故も発生しています。

野焼きによる重大な事故を防止するため、

- ① 強風時や乾燥時には野焼き等をしないこと、
- ② 枯れ草等のある場所では野焼きをしないことに十分注意しましょう。

